



飯田高校便り (校長版)

令和5年3月6日

【第17号】

祝卒業！ “飯田高等学校第75回卒業式”

3月2日（木）に飯田高等学校第75回卒業式が行われました。コロナ感染拡大防止のため、式には卒業生と各家庭保護者1名、そして教職員が参加、その他来賓として大田中同窓会長、落合PTA会長に臨席していただきました。マスク着用に関しては、個人の判断に任せることとし、多くの卒業生は、マスクなしで式に臨みました。

卒業生は、3年前の高校入学時からコロナ禍に見舞われ、マスク着用をはじめ、様々な制約のもと、窮屈で悔しい高校生活を過ごしてきました。卒業生の心中を察すると、飯田高校の職員の一員として、仕方がないこととは言え、申し訳ない気持ちになります。しかし、前生徒自治会長の佐藤峻さんは卒業生を代表して、コロナ禍での高校生活の辛さ、切なさを吐露しながらも「大きな目標を目指すこと」「学校生活を思い切り楽しむこと」「毎日、学校に来て友達と会えること」など、何気ない日常の尊さに気付かされたこと、答辞の中で述べていました。コロナ禍での高校生活を過ごした卒業生の言葉だからこそ、聞く者の心に重くそして深く刻まれたのではないのでしょうか。また、送辞では在校生を代表して副会長の相澤春花さんが「卒業生の姿に接して、自分次第で、毎日充実したものに近づけることができることを学び、そのことを今後の日々の生活、生徒自治活動で生かしていきたい」と述べました。コロナ禍でも前を向いて頑張る卒業生の姿は、1、2年生にとっても大きな励み、活力となったようです。

新しいステージに向かって歩み出した233名の卒業生の将来が、幸多きことを心から願っています。

